

越冬隊友の会 ニュースレター

秋山隊長 一周忌記念号

Dec. 2017

編集・発行 越冬隊友の会

秋山美奈子「がん哲学外来」越冬隊友の会長（越冬隊隊長）1周忌



順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授
一般社団法人 がん哲学外来 理事長
「越冬隊友の会」顧問 樋野興夫

秋山美奈子 越冬隊友の会長（越冬隊隊長）の追悼記念講演会（2016年12月11日（日）、ひばりが丘教会に於いて）から早1年が過ぎた。

『私たちの敬愛する秋山美奈子さんが、11月10日に天に召されました。人生の伴侶・敏之さん、愛犬ハンナちゃん、ご家族はもとより、私たち友人も、大きな喪失感をおぼえ、悲しみと寂しさは消すことができません。けれども、がん哲学外来を通して美奈子さんと出会い、かけがえない時を共に過ごした者として、ただ悲しみに暮れるのではなく、この交わりを感謝し、彩り豊かな思い出を分かち合いたいと思います。ささやかな追悼の会を計画しました。お時間の許す方はぜひお越しください。』と、案内文に記載されていた。私は、wifeと出席した。そして、追悼講演『越冬隊隊長との「がん哲学外来メディカルカフェ」』の機会が与えられた。

「泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある」の厳しい現実である。秋山美奈子 越冬隊隊長は、『病気であっても病人ではない～あなたは そこにいてだけで価値ある存在～』の見事な地上の生涯でした。まさに「すべてのことを働かせて益とさせていただきます」を、私たちは知っています（ローマ人への手紙8章28節）の深い学びの時である。

「無邪気に、喜んで、小さな事に、大きな愛を込める：秋山美奈子 越冬隊隊長」と天国で、大宴会「がん哲学外来カフェ」を開催するのが、地上の夢でもある。

「素敵なお手本」

「越冬隊友の会」名古屋支部長
シャチホコ記念カフェ代表
彦田かな子

秋山さんは、いつも絶妙の距離感で私を迎え入れてくださいました。強い意志と豊富な知識を持ち、いつもおしゃれで完璧な装い。「カフェで出会った24人」で秋山さんが書かれている「あいまいなことはあいまいに」とは真逆のようですが「あいまいに」を覚悟し生き抜いた姿は、やはり意志の強さを感じました。憧れの秋山さんをお手本に「あいまいに」絶妙の距離感を大切にカフェを開催していきます。

「秋山隊長と私」

「越冬隊友の会」広報 角田万木

隊長とは同病という事もあり、最初の頃は何回か一緒に出掛けたりしました。その中で、隊長のお気に入りのカフェでランチをした後に、お家に遊びに行った事が、印象に残っています。緑が多い環境で、細部にまでこだわった素敵なお家で、可愛い愛犬のハンナちゃんに初めて会った穏やかな一時は、良き思い出の一つとなっています。

その後、お互いの状況は変わり、微妙な時期もありましたが、私が再発した事を話した時には、隊長は泣いてしまいました。

夫を一人残していく…という同じ立場で、話した事もあります。隊長のご主人にとって、きっとハンナちゃんが拠り所となっていると思います。私にもしもの時には、夫にはカフェが拠り所となるよう願うばかりです。

隊長がそうであったように、私は私なりの今生きているこの時を大切にしながら、人の心に残れる生き方をしていきたいと思っています。

美奈子が越冬隊で大変お世話になりました。11月10日で1年たちました。確か越冬隊のスタートは11月11日でした。この1年、昨今の頃はどのようにしていたのか毎日手帳を見ながら過ごしました。

7月の石巻のセミナーでは樋野先生と写真をとり大変喜んでいました。9月の富良野旅行では満面の笑みでスープをお腹いっぱいになるまで飲んでました。リレーフォーライフでは車椅子で必死に皆様に会いに行きました。あっという間の1年で全てが私の中で生き続けてます。現在は毎朝6時からハンナと散歩に出かけ1日が始まり、仕事から戻り夜中の散歩で1日が終わります。週末はハンナと山を歩きます。帰りに美奈子のお墓に寄ります。今も家には美奈子の物がたくさんあります。いつもどこかにいるような感じです。ハンナは美奈子が残した宝物です。越冬隊の皆様には大変お世話になりありがとうございました。美奈子の思いとともに暮らしを楽しんでいけたらと思います。

秋山敏之

「そばにいるような、妹へ」

原由美

美奈子、天国のがん哲学のカフェの準備は順調ですか？内村・新渡戸両先生方他の偉い先生方とはお近づきになれましたか。あれから私達は、近くに感じるような気がする美奈子や、回りの人に支えられ、悲嘆にくれる事なく生きてます。（時々泣いてよ！と言われそうだけど…）がん哲を会津に、それが美奈子の願いだったね。なかなか果たせずにいます。ごめん。でも今、福島県では、メディカルカフェに似た、がんピアサロンという集いが各地にでき、先日は奥会津で初めて、我が柳津町でも始まりました。患者さんや家族が、心を開いて話せる場になるといいな。

樋野先生は、私にも「あなたの旅館ががん哲学外来をやれば？」とおっしゃったんだよ。「冗談!!」と思ったけど、少人数でも何とかできないかな、と考え始めています。美奈子が出てこなくていいから、見守っていてね。夢でアドバイスぐらいはいいけど…。

「拝啓 秋山隊長へ」 「越冬隊友の会」庶務 小林真弓

季節が巡り、また霜月になりました。秋山隊長は、今頃、自由に、気ままに、あちらこちらを飛び回っている事でしょうね。きっと、私達越冬隊の事もチラ見しながら笑っているのかも。秋山隊長とご縁を頂いてから、いろんな事を体験しました。ラジオでたり、シンポジウム、本が出版されたり。信じられない事ばかりです。越冬隊結成から、私の心に残る素敵なお思い出がたくさんできました。感謝！お仲間に入れて頂きありがとうございました。

さてこの一年、私はどうすごしていたのか…。胸を張って秋山隊長に報告できるのか…?! ウーン！これはマジイ！秋山隊長に胸を張ってご報告できるように、今日を一步一步しっかり歩いて、楽しくすごしていきますね。報告をお楽しみに。 かしこ

「越冬隊友の会」連絡先：
副会長 大弥佳寿子 TEL042-395-2140 kzoya@aa.bb-east.ne.jp
後援：一般社団法人 がん哲学外来 <http://www.gantetsugaku.org/>